

福祉サービスの組織と経営

問題 124 社会福祉事業などを行う法人の設立や運営に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 特定非営利活動法人は、設立に際し3名以上の理事が必要である。
- 2 一般社団法人は、法人の事業として公益的活動を実施する必要がある。
- 3 公益財団法人は、設立の当初から公益財団法人として設立することができる。
- 4 社会福祉連携推進法人は、社会福祉に係る業務の連携を推進し、社会福祉法人の経営基盤の強化に資すること等を目的に設立する一般社団法人である。
- 5 医療法人は、社会福祉事業を行うことにより社会医療法人と認定される。

問題 125 事例を読んで、A 社会福祉士を中心に実施した一連の取組において重視した次の考え方のうち、適切なものを 2 つ選びなさい。

〔事 例〕

B 障害福祉施設では、中堅・ベテラン職員による「経験に基づく支援・業務」が最も重視され、若手職員が育成されないまま離職してしまうということが相次いだ。そこで A は、会議を定期的に開催して、他の職員と一緒に特に定型的な業務にかかる時間を測定し、不適切な手順や無駄な動作のある業務を洗い出し、効率的な方法を検討した。また、利用者の特性に応じた支援マニュアルなどを作成した。会議は継続して行われ、支援方法の改善や不要な業務の廃止に取り組んだ。会議での議論の積み重ねから、法人理念の改訂について、理事会へ提案するなどの活動にも至った。これら一連の取組の中で、職員間のコミュニケーションも増え、職員の定着率も上がっていった。

- 1 エンゲージメント
- 2 リスキー・シフト
- 3 ダブル・ループ学習
- 4 科学的管理法
- 5 ハインリッヒの法則

問題 126 次の記述のうち、心理的安全が確保されているといえるサービス提供組織の特徴として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 上司が強いリーダーシップを発揮することにより、部下の安心の基盤となる。
- 2 組織の安定性を優先させるために、意見の不一致や対立を回避する。
- 3 失敗や危惧、疑問などの情報も共有し、組織のパフォーマンスを高める。
- 4 職種・職位などに伴う権限を重視したコミュニケーションを行う。
- 5 業務改善や新規事業の推進は、発案した人が責任者となる暗黙のルールがある。

問題 127 次の記述のうち、社会福祉法人の決算期の計算書類の承認のプロセスとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 理事会で承認し、その後、監事による監査を経て、評議員会にて承認する。
- 2 理事会で承認し、その後、評議員会での承認を経て、監事による監査で承認する。
- 3 評議員会で承認し、その後、理事会での承認を経て、監事による監査で承認する。
- 4 監事による監査を受け、その後、理事会での承認を経て、評議員会にて承認する。
- 5 監事による監査を受け、その後、理事会での承認を経て、所轄庁に提出する。

問題 128 福祉サービスの経営に関する理論とその説明の組み合わせとして、次のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ブルー・オーシャン戦略 — 一般的な支援を総合的に提供するのではなく、従来存在しなかった全く新しい領域の事業を開始する。
- 2 ポジショニング理論 — 特定のターゲットを明確にして事業を考えるのではなく、地域の他の事業所も行っている一般的な支援を総合的に提供する。
- 3 コア・コンピテンス理論 — 法人設立当初からの事業で培った専門分野を生かすのではなく、新しい分野のサービスを開発・実施する。
- 4 リソース・ベースド・ビュー(資源ベース理論)
— 事業所内部の職員や設備の特徴・専門性を生かすのではなく、補助金や報酬制度の変化に応じて事業計画を立案する。
- 5 S D C Aサイクル — 支援方法は現場職員の判断を重視して組織的課題にはせず、支援の改善内容の継続はそれぞれの職員の判断で行う。

問題 129 職員の人材育成や評価に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 目標管理制度とは、組織全体の目標を踏まえ、職員が自主的に目標を立てることで動機づけを図り、自己統制と業績の向上を図ることをいう。
- 2 能力評価とは、職員に備わっている積極性や責任感、協調性などを評価することをいう。
- 3 人材の評価におけるハロー効果とは、人から期待されると、その期待に添うように行動し、職員の能力が伸びていくことを指す。
- 4 360度評価とは、1人の職員の能力・性格・志向などを、指標に基づき多面的に評価する手法のことをいう。
- 5 コンピテンシー評価とは、高業績者に共通してみられる行動特性や思考の特徴を抽出してモデル化したものによって評価することをいう。